

編集エディタの使い方

こんにちは、松下です。

今回は、編集エディタの使い方について解説していきます。

編集エディタとは、YouTubeに動画をアップロードした後に、YouTubeの中で編集ができる機能のことを言いますが、あなたがこれからYouTubeで大量にアクセスをためには、非常に便利な機能になりますので、最後までしっかりとご視聴ください。

それでは、張り切って参りましょう！

YouTubeに動画をアップロードする場合、通常は事前に編集をしながらアップロードします。

しかし、まれにアップロードしてしまった後に、「動画をもっとこうしておけば良かった」や、「YouTubeから著作権の問題などで、この部分を削除してください」と言わされた時などに、編集エディタを使うことで、その問題を解決することができます。

たまに生徒さんから、「そういう場合は、動画をアップロードし直せばいいんじゃないですか？」という質問を受けることがあるんですけど、YouTubeは特質上、動画をアップロードし直すと、視聴回

数やコメントなどがリセットされてしまいます。

なので、ミリオンズでは、基本的に動画をアップロードし直すということはお勧めしていません。

動画をアップロードした後に、動画に何かしらの問題が発生した場合は、出来るだけ編集エディタを使って修正するようにしてください。

では、これから編集エディタの具体的な使い方について解説します。

まずは、YouTubeスタジオを開いて、コンテンツをクリックし、編集したい動画を選択します。

そして、左側の「エディタ」をクリックすると、動画エディタの画面になります。

エディタ機能には「動画」と「音声」、「ぼかし」、そして「終了画面」の4つの機能がありますが、これから一つ一つ見ていきましょう。

まずは、「動画」です。

こちらは動画を編集する機能になりますが、動画を部分的にカットする場合に使います。

例えば、これから動画の最初の部分をカットしてみますが、元の動画はこんな感じになります。

で、今回はここまでをカットしてみますが、この状態で上にある「カット」をクリックします。

すると、左側に掴める部分ができましたので、ここを掴みながらカットしたい部分まで移動すると、この部分が黒くなりカットすることができます。

再生位置を戻して再生してみると、こんな感じでカットされます。

次に、動画の途中をカットする場合ですが、まずは、カットしたい部分に再生位置を持って来ます。

そして、「カット」をクリックすると、下の方に「分割」というメニューが表示されるので、こちらをクリックします。

すると、先程と同じように掴める部分ができますので、こちらを掴みながら、カットしたい範囲を選択します。

すると、こんな感じで黒い部分がカットされます。

再生してみると、黒い部分がカットされています。

もし、間違えてカットしてしまった場合は、この上のバツ印を押すと元に戻すことができます。

次に、「音声」ですが、こちらは音声を編集する機能になりますが、もし、著作権に問題があるBGMなどを動画に入れてしまった場合に、こちらで差し替えることができます。

使い方は、まずは「音声」をクリックすると、このようにYouTubeのBGMライブラリーが表示されるので、こちらから差し替えるBGMを選択します。

ちなみにBGMは、外部からは取り込むことができないので、この中から選択してください。

BGMの再生ボタンをクリックすると、どんなBGMかを確認することができる、良さそうなBGMを見つけたら「追加」をクリックします。

すると、下のゲージにBGMが追加され、元の音声は消されます。ゲージの端をクリックしながら移動すると、BGMの範囲を変えることもできます。

そして、再生ボタンを押すと、確認することができます。

さらに、ゲージの右の点々をクリックすると削除することもできます。

次に、「ぼかし」ですが、こちらは動画にモザイクをかける機能になります。

例えば、芸能人の写真など、象徴権などに問題があった場合に、こちらの機能を使ってモザイクをかけると便利です。

使い方は、まずは「ぼかしを追加」をクリックすると、「顔のぼかし」と「クイックぼかし」という2つの機能が選択できますが、まずは、「顔のぼかし」を使ってみましょう。

すると、このようにYouTubeが顔を認識するので、全ての顔にボカシを入れる場合は、上の「全て選択」にチェックを入れます。

今回は、こちらとこちらの顔を選択し「適用」をクリックします。すると、こんな感じで顔にモザイクが入ります。

モザイクがかかっている部分は、下のゲージに青色で表示されるので、この部分を調整することで、モザイクの範囲を修正することができます。

上のゴミ箱ボタンを押すと、モザイクを削除することもできます。

次に、「カスタムぼかし」ですが、こちらを選択すると、画面の中にこのような四角い枠が表示されます。

この枠がボカシの位置になりますが、この枠は、上の編集画面で楕円形に変えることもできます。

そして、モザイクの位置を調整し、上の編集画面で「ぼかし対象の動きに合わせる」を選択すると、対象物の動きに合わせてモザイクも動くようになります。

「ボカシの位置を固定」を選択すると、モザイクは固定されます。

次に「終了画面」ですが、こちらは、終了画面を後から追加する機能になります。

ただし、終了画面は動画をアップロードする際に、必ず設定することをお勧めしていますので、ここで設定することはほとんど無いと思います。

終了画面に関しては、下に詳しい動画を用意しましたので、そちらをご覧ください。

全ての設定が終わりましたら、右上の「保存」をクリックすれば完了です。

以上が、編集エディタの使い方についての解説でしたが、いかがだったでしょうか？

編集エディタは、動画をアップロードした後でも、動画編集ができる非常に便利な機能になりますので、ぜひ、参考にしてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。